

次期「赤穂市総合戦略」について

2021年度（令和3年度）から本市の最上位計画として、新たな「2030赤穂市総合計画」に基づくまちづくりが進められることから、「赤穂市総合戦略」における施策・事業等について見直しを行い、「2030赤穂市総合計画」による取組等に整合した次期「赤穂市総合戦略」の策定を進めていきます。

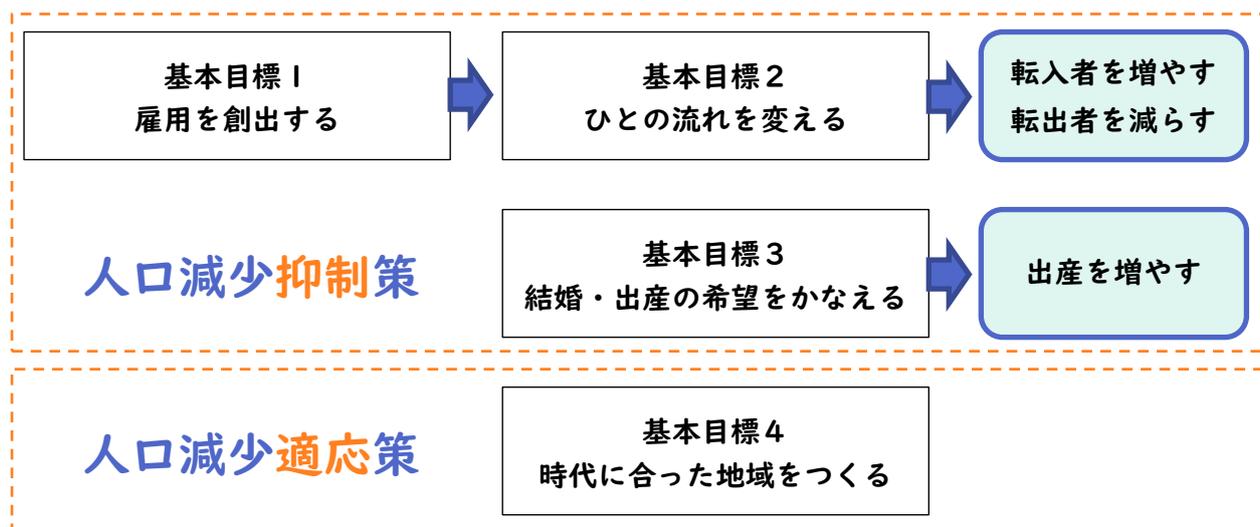
1. 現「赤穂市総合戦略」における基本目標

現「赤穂市総合戦略」は、国の「総合戦略」における4つの基本目標を踏まえた基本構造となっています。

基本目標1	赤穂市における安定した雇用を創出する
基本目標2	赤穂市への新しいひとの流れをつくる
基本目標3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
基本目標4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るために、地域と地域を連携する

2. 「総合戦略」の論理構造

「総合戦略」は、人口減少に対する戦略であり、そうした視点から次のような論理構造として想定されています。



3. 次期「赤穂市総合戦略」の方向性

次期「赤穂市総合戦略」においては、人口の変動要因に基づき、自然動態（出生・死亡）の改善、社会動態（転入・転出）の改善への取組をそれぞれ基本目標とするとともに、これに交流や関係人口創出への取組を加えた3つを基本目標とすることで、より明確に人口減少に歯止めをかける取組の方向性を示すことができるのではないかと考えます。

